

平成28年度日進市立学校給食センター運営委員会（第1回）議事録

日時 平成28年7月8日（金）

午後1時30分～

場所 日進市立学校給食センター  
2階会議室

[出席者] 早川 佳秀  
吉田 勝俊  
新井 三代  
萩野 一志  
野村 優子  
田貫 浩之

[欠席者] 久保田 力、笹本 基秀

[事務局] 教育部長 西村 幸三  
学校給食センター所長 中川 学  
栄養士 山本 重樹  
主幹 星野 千鶴

[傍聴者] なし

[議題]

- 1 役員を選出について
- 2 平成27年度事業実績について
- 3 平成28年度事業計画について
- 4 その他

( 開会 午後1時30分 )

事務局： 平成28年度第1回日進市立学校給食センター運営委員会を開催します。

(事前配布した資料と当日配布資料の確認)

議題1の役員選出までは事務局が進行役を努めさせていただきますので、よろしくお願いします。

なお、本日は教育長が公務のため出席できません。初めに、西村教育部長がご挨拶申し上げます。

( 教育部長あいさつ )

事務局： 本日は6名の委員に出席いただいておりますので、運営委員会規則第7条によりこの会議は成立いたします。

始めに「委員の委嘱」につきましては、お一人お一人に委嘱書をお渡しするのが本意ではございますが、委嘱書は事前にお届けしていません。

皆様の任期は、来年の3月末までですのでよろしくお願いします。

今回、新たに委員となられた方もいらっしゃいますので、恐れ入りますが委員の皆様の自己紹介をお願いいたします。

( 順に自己紹介 )

事務局： (事務局職員を紹介)

次に、本委員会の役割について説明します。

※配布した資料(センター設置条例及び委員会規則)を基に説明

本日は傍聴の申し出はございません。会議は、お手元の次第に沿って進めてまいります。

では、「役員選出について」を議題とします。

運営委員会規則の第6条におきまして、役員として会長、副会長各1名を置き、委員の互選により選出することとなっております。慣例により、指名推薦にて会長・副会長のご選任をお願いします。ご推薦はございませんか。

委員： 会長に早川委員、副会長に田貫委員を推薦します。

事務局： ただいま、会長に早川委員、副会長に田貫委員をご推薦いただきました。ご異議ございませんか。  
拍手により承認いただきますようお願いいたします。

（ 拍手多数 ）

事務局： ありがとうございます。  
会長・副会長は、所定の席へ移動願います。  
（両名、席を移動）  
それでは、会長と副会長にご挨拶をお願いします。

（ 早川会長あいさつ ）

（ 田貫副会長あいさつ ）

事務局： ありがとうございます。  
これより議事の取り回しを早川会長をお願いします。

会 長： 本委員会は、学校給食の充実向上を図るため、必要な事項を審議し、助言することです。皆様からの多くのご助言がいただければありがたいと思います。  
それでは、議題２、「平成２７年度事業実績について」を議題とし、進めていきます。事務局から説明をお願いします。

事務局： （ 資料２により説明を行う。 ）

会 長： ただいまの事務局からの説明について、ご質問はございますか。

委 員： 食べ残しについて、残りやすい食材など、何か傾向はありますか。

事務局： やはり、野菜とか、大豆とか、汁物で具が多いものなどが残りやすくなっています。

会 長： カレーなどは残りません。

事務局： 極端に差があります。食べられるのに食べてもらっていないのは残念です。カレーなどはごはんが足りないという意見はよく聞きます。

献立によって、主食であるごはんの残り具合はかなり変わってきます。

(事務局から資料訂正の申し出あり)

会 長： 他に何かありますか。

( 発言者、なし )

会 長： それでは続きまして、「平成28年度事業計画について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

事務局： ( 資料3により説明を行う。 )

会 長： それでは、28年度の事業計画についてのご意見、ご要望等とともに、給食についてのご意見等ございましたら、発言をお願いします。

委 員： アレルギー対応の状況の説明で、牛乳代金相当分が50円とのことでした。昨年度は40円という説明でした。どのような理由で。

事務局： 現在の牛乳1本あたりの値段が50円になったためです。

会 長： 他にありませんか。

委 員： 学校に栄養指導に入っただき、ありがとうございます。

ただ、特に中学校になると難しくなると思います。「朝食をとろう」というテーマで、子どもたちの偏食による朝食内容の偏りがあるというようなことを想定しての指導だと思います。

「朝食をとる」ということは、ほとんどの子どもたちもわかっていることで、ほとんどの家庭は問題ないのですが、親ごさんへの発信として「朝ごはんを作ろう」という発信が必要な状況も実際にはあります。

あるいは、我々もそうですが、朝食というものは、子どもたちに選択の余地がない状況です。

ここで指導されていることは、すべての教育がそうであるように、子どもたちが、将来、大人になって、家庭を持ったときの準備という意味を持つもので、子どもたちにしっかり教えてあげたい、これはいいと思います。要望でもありますが、食育の観点で、子どもたちに朝ごはんを

しっかり食べさせてあげよう、という大人への発信もどこかでもう少ししていかないといけないのかな、と思います。

事務局： 試食会という機会もありますが、小学校3年生、5年生と中学校1年生への栄養指導では、各家庭との協力という意味でプリントを配布し、子どもたちへは宿題という形で3年生は3日間、5年生は5日間、中学校1年生は3日間の朝食アンケートをお願いしています。

委員： 3年生の子どもがいますが、朝食メニューを書くというものをやりました。

事務局： 朝食アンケートは各ご家庭にも協力をお願いし、コメントをいただいています。そのときには、ご家庭で読んでいただくプリントもお渡ししています。

委員： 親ごさんへの発信で、学校でも苦慮するのは、大半のご家庭はわかっているからなので、やっていただけるのですが、難しい家庭のあることも事実です。

事務局： 指導させていただいて、「お母さん、作ってくれない」というお子さんには、こちらから強くは言えませんので。

委員： 子どもにいやな思いをさせるわけにはいけないので。

事務局： 本人が「もっと食べたい」という感想を書きますが、「おうちの人と相談して」と答えるのが精一杯で、深く追求することもできずに、栄養指導をやっています。

試食会を通じて、といっても、参加されるお母さんではなく、参加されないお母さんに発信することが必要なんですが。

会長： 他に何かありませんか。

(発言者がいないことを確認)

議題3については、以上といたします。ただいまのご意見等を参考にさせていただいて、安全安心な給食づくりに取り組んでいくようお願いいたします。

次に、その他について、事務局よろしいですか。

事務局： （学校給食に係るアンケート実施概要の説明）

委員： 小学校5年生と中学校2年生を対象とした意図は。

事務局： 小学校は、低学年を対象にすると設問の意味を先生に確認する子どもがいて、先生の手を煩わせてしまうことが想定されるので、高学年を対象としました。また、中学校は、昨年度との比較が必要となることから2年生を対象としました。

委員： 実施していただくことはいいと思います。  
アンケートの内容については、校長会にご提示していただくということをお願いします。

事務局： はい。校長会には、事前にアンケート内容についてお諮りします。

会長： 他に事務局からありますか。

事務局： （運営委員会の次回開催時期について説明）

会長： それでは長時間にわたりましてありがとうございました。  
以上を持ちまして、第1回学校給食センター運営委員会を終了します。

（ 閉会 午後2時17分 ）